

趣旨

タリバンによるバーミヤン石仏の破壊をきっかけに設立されたネットワーク組織である文化遺産国際協力コンソーシアムは今年で10周年を迎え、これまで文化遺産の保存や活用に関するさまざまなプロジェクトを支援してきました。そこには、文化遺産を通じた異文化理解、多文化共存など地球の平和を実現しようという強い信念と行動の裏付けがありました。しかし、近年の自然環境の悪化をはじめ、紛争や自然災害の頻発などが、以前にも増して文化遺産の保護と活用に対する脅威となっていることは

間違いありません。その意味で、文化遺産国際協力コンソーシアムは、そして文化遺産に関する我が国の国際協力は今後どうあるべきなのかを、改めて考えるべき時期にきています。本シンポジウムでは、将来においてどのような協力が可能か、またその実現のために今何をすべきなのかについて、専門家の方々に具体例を紹介しながら語っていただき、文化遺産の国際協力における我が国の将来像を考える糧とします。

プログラム

13:30 [開会] 主催者挨拶

「平山都夫先生と私」

古屋圭司(衆議院議員、元自民党文化財国際協力推進議員懇談会幹事)

「文化遺産により世界の架け橋を目指す—コンソーシアム10年を振り返って—」

石澤良昭(文化遺産国際協力コンソーシアム会長、上智大学特別招聘教授)

「文化遺産を支える人々の輪—混迷つづく国際社会の中で—」

岡田保良(文化遺産国際協力コンソーシアム副会長、国士舘大学イラク古代文化研究所長)

「『クローン文化財』の文化遺産への活用と意義

—デジタルとアナログを組み合わせた技術による人材育成—

宮廻正明(東京藝術大学教授)

「文化遺産保存に対するJICAの取組—誰一人取り残されない世界の実現をめざして—」

江島真也(国際協力機構企画部長)

ディスカッション「コンソーシアムの課題と展望」

司会: 関雄二(文化遺産国際協力コンソーシアム副会長、国立民族学博物館教授)

登壇者: ニュン・ハン(東南アジア教育大臣機構考古学・美術センター上級研究員)、青木繁夫(東京文化財研究所名誉研究員)、岡田保良、宮廻正明、江島真也

17:30 [閉会]

関連イベント

[シンポジウム会場特別展示]

「バーミヤン東大仏天井壁画」

「法隆寺金堂壁画第6号壁」復元パネル

講演内容に関連して、会場には伊勢志摩サミットのサイドイベントでも取り上げられた、復元最先端技術で制作されたバーミヤン東大仏天井壁画、法隆寺金堂壁画6号壁を展示いたします。

日時:2016年9月25日(日)12:30~17:30



©東京藝術大学

[ニュン・ハン氏 特別講演会]

「ミャンマーにおける文化遺産保護の現状と課題」

シンポジウム翌日に、ディスカッション登壇者のニュン・ハン氏を招いた特別講演会を開催いたします。ミャンマーの文化遺産保護に精通する同氏の幅広い知見をお話しいたします。ふるってご来場ください。

会場:東京文化財研究所地階セミナー室(東京都台東区 上野公園13-43)

日時:2016年9月26日(月)14:00~16:00

参加費:無料 事前申込不要 ※逐次通訳あり

定員:110名

主催:文化庁、国際交流基金アジアセンター、文化遺産国際協力コンソーシアム

シンポジウム申込概要

入場無料【申込制】定員300名 コンソーシアムウェブサイトの申込フォームよりお申込ください。

<https://www.jcic-heritage.jp/eventform/>

web申込締め切り:9月22日(木)

※ハガキでの申込も可。氏名(ふりがな)・ご所属・電話番号・メールアドレス・会員/非会員をご記入の上、「コンソーシアム10周年記念シンポジウム参加希望」とお書き頂き、9月21日(水)必着で事務局宛にご郵送ください。
※お席に余裕がある場合は当日参加も受け付けております。



アクセス

会場 TKPガーデンシティ品川
〒108-0074 東京都港区高輪3-13-3 SHINAGAWA GOOS 1F

最寄り駅 JR線 品川駅 高輪口 徒歩1分、
京急本線 品川駅高輪口 徒歩1分、都営浅草線 高輪台駅 徒歩7分



お問い合わせ

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局

〒110-8713

東京都台東区上野公園13-43

(独)国立文化財機構 東京文化財研究所内

E-mail consortium@tobunken.go.jp

Tel 03-3823-4841 Fax 03-3823-4027



「平山都夫先生と私」

古屋圭司

衆議院議員、元自民党文化財国際協力推進議員懇談会幹事

「文化遺産により世界の架け橋を目指す—コンソーシアム10年を振り返って—」

石澤良昭

文化遺産国際協力コンソーシアム会長、上智大学特別招聘教授

「文化遺産を支える人々の輪

—混迷つづく国際社会の中で—

岡田保良

文化遺産国際協力コンソーシアム副会長、

国士舘大学イラク古代文化研究所長

「『クローン文化財』の文化遺産への

活用と意義—デジタルとアナログを

組み合わせた技術による人材育成—

宮廻正明

東京藝術大学教授

「文化遺産保存に対するJICAの取組

—誰一人取り残されない

世界の実現をめざして—

江島真也

国際協力機構企画部長

【ディスカッション】

「コンソーシアムの課題と展望」

司会:

関雄二

文化遺産国際協力コンソーシアム副会長、国立民族学博物館教授

登壇者:

ニュン・ハン

東南アジア教育大臣機構考古学・美術センター上級研究員

青木繁夫

東京文化財研究所名誉研究員

岡田保良、宮廻正明、江島真也

文化遺産国際協力コンソーシアム設立10周年記念

文化遺産から つながる未来

2016.9.25[日]13:30-17:30 (開場12:30)

会場:TKPガーデンシティ品川 JR線 品川駅 高輪口 徒歩1分、京急本線 品川駅 高輪口 徒歩1分
都営浅草線 高輪台駅 徒歩7分

入場無料 【申し込み制】定員300名 同時通訳あり

主催:文化庁、国際交流基金アジアセンター、文化遺産国際協力コンソーシアム

後援:外務省、東京文化財研究所、奈良文化財研究所、国際協力機構、住友財団、三菱財団、トヨタ財団、
文化財保護・芸術研究助成財団、ユネスコ・アジア文化センター文化遺産保護協力事務所、
日本ユネスコ協会連盟、国立民族学博物館、日本イコモス国内委員会、NHK、朝日新聞社、
産経新聞社、東京新聞、日本経済新聞社、毎日新聞社、読売新聞社

